

# 国保会計が4年連続赤字

上手にお医者さんにかかるよう心掛けましょう

白根市の国民健康保険会計が今年度も赤字となる見込みです。これでも成五年度から四年連続して赤字が続いています。慢性的に赤字が続いている原因は、なんといっても医療費の増加です。併せて国保制度を支える若い人が減っていることも挙げられます。みんなの力で成り立っている国保制度。このままでは、制度自体が運営できなくなりそうです。一人ひとりが、無駄なく正しく医療費を使うよう心掛けましょう。

## 基金取り崩しも限界

現状

国民健康保険制度は、もし加入者のだれかが病気になるっても、みんなが支え合い、その人の医療費の負担を少しでも少なくしようという医療制度です。国の委任を受け、各市・町・村で運営されるため、その保険料率もそれぞれ違ってきます。白根市の一人当たりの保険料額は、県下二十市中で下から三番目の低額です。この税率は、平成五年度に約一〇パーセントの引き下げをしました。以来、ずっと据え置き状態を保っています。

医療費の急増に対応するために設けられた「給付準備基金」を取り崩すなどしながら何とかやりくりしてきました。それでも赤字幅はどんどん広がる一方です。表をご覧ください。国保会計の実質赤字額を示す、前年度繰越金と給付準備基金の合計額での比較です。五年度末は四千五百万円だった赤字額が、年を追うごとに増えています。今年度末は二億五千五百万円になる見込みです。今年度が終わった時点で、基金などの財源は約一億四千万円ほど残る予定ですが、それを来年度に使い切ったとしても、現在の赤字幅が拡大している状況を見ると、まったくの財源不足に陥り、国保制度自体の運営ができなくなります。

## 老人の医療費が多くなる

要因 その1

一時は、保険料率の引き下げを行っていた財政状況が、なぜ、ここまで急激に悪化したのでしょうか。それにはさまざまな要因が考えられます。まず、医者にかかったときの医療費が高くなったことです。これは全国的な傾向で、厚生省のまとめによると、国民一人当たりの平均医療費は平成元年度で十六万円だったものが、以後、毎年七千円から一万円ほど上がり、平成七年度には約二十二万円にもなっています。特に老人の医療費が急激に伸びています。厚生省によれば、老人の一

人当たりの年間医療費は、それ以外の人の約五倍も掛かります。一度病気になる長期化すること、慢性的な病気が多いこと、入院期間が長いことなどがその原因です。白根市の国保の医療費もこの傾向に沿って、四年度には約十五億四千万円だったものが七年度には約十九億五千万円に増加。今年度、二十億円を超えることは確実です。さらにお年寄りの医療費は激増。老人の医療費を示す老人医療拠出金は、四年度は約四億二千万円だったものが、七年度は約四億八千万円。今年度は約六億一千万円にのぼると見込まれています。

## 一般加入者の減少と老人加入者の増加

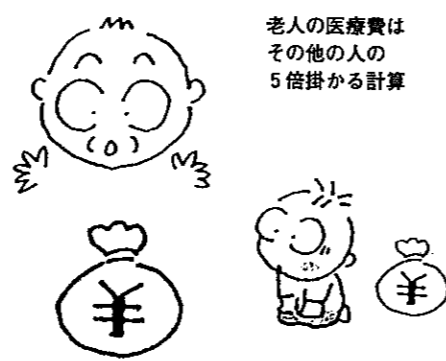
要因 その2

このような状況に加えて、白根市では国保加入者のうち、老人が増え、一般の加入者が減る傾向にあります(グラフ)。平成三年から八年にかけて、老人は約一九・八パーセント増加し、一般は約一七・三パーセント減少しています。老人の医療費が高いのは前述のとおりです。加えて、お年寄りは、所得も低く保険料額が低くなっています。これに対して一般の人は、健康なため医療費が安く済む割には、保険料額は高くなります。一般の人の負担は大きく、白根市の国保制度全

## 上手な受診と 普段の健康づくり

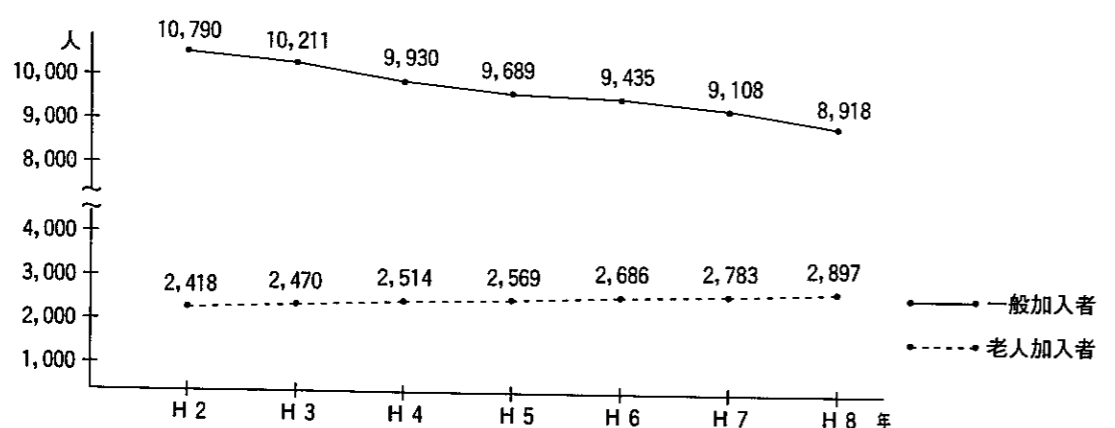
ご協力を

深刻な赤字を解消するため、市、市議会とも一体となって対策を考えています。根本的には、いかに医療費を少なく抑えられるかがポイントとなります。加入者の皆さんにお願いしたいのはこの点です。まずは上手にお医者さんにかかるよう心掛けましょう。よくありがちなのが重複受診、つまり一つの病気について複数のお医者さんに見てもらうことです。当然、初診料は何回も取られますし、普段の診療費、薬代も何倍も掛かってしまいます。本当に良い診療を受けるには、何よりも医師との良い人間関係をつくるのが大切です。そのためには、かかりつけの医師(ホームドクター)を持つことが好ましいでしょう。家庭



老人の医療費は他の人の5倍掛かる計算

グラフ：白根市国保加入者の推移 (各年3月31日現在)



表：各年度末の繰越金と給付準備金の残高 (単位：千円)

年度	繰越金	給付準備金	合計	前年度比較
平成4年度末	198,961	487,631	686,592	10,678
〃 5年度末	139,872	501,392	641,264	-45,328
〃 6年度末	120,319	409,240	529,559	-111,705
〃 7年度末	81,851	313,496	395,347	-134,212
〃 8年度末(見込み)	20,000	120,000	140,000	-255,347